

本堂上棟式

湖西市神座にある東雲寺様（曹洞宗）では四月三〇日に本堂と摩利支天堂の上棟式が行われました。昨年の一・二月より解体工事が始まり、佐野棟梁が墨付けと加工を進めてまいりました。四月の中旬から始まった建て方工事は10日間に及びましたが、順調に進めることができました。ご住職による法要後は餅まきも行い、集まった檀家さんや近隣の皆さんもとても楽しそうでした。コロナ以前の光景が戻ってきたようでした。最近では上棟の餅まきを行うことも少ないので貴重な体験です。



法要には総代さんも参加していただき、一人一人焼香し工事の安全を願いました。

瑞龍寺様で落慶式

（静岡市葵区）



平成30年より始まった本堂・諸堂の耐震工事が令和2年に終わり、5月23日に落慶法要が営まれました。おめでとうございます。

内陣の天井に「駿河龍神」と名付けられた天井画が奉納され、落慶式で披露されました。これから瑞龍寺様と檀家の皆様を末永く守ってくださることと思います。



神門保存修理工事の柿葺き（こけらぶき）工事終了

秋葉神社様の神門保存修理では、屋根を木の板で葺く柿葺きの工事が五月の末に終了しました。（株）村上社寺工芸社の職人さん達は昨年十一月より現場で作業に入り、七カ月にわたり冬の寒さの厳しい中でも作業を続けてきました。本当にお疲れ様でした。

また、五月一日には浜松市主催で一般公募にて申し込みをされた来場者向けに、作業現場内や彫刻を間近で見ることができるとの見学会が開催されました。



各地で国宝や重要文化財に携わる職人さんの作業の様子が間近で見ることができました。